

埼玉生団連 第6回会合

8月21日(木)埼玉生団連 第6回会合を開催いたしました。



▲柿沼 トミ子 埼玉生団連会長
(埼玉県地域婦人会連合会 会長)



▲阿南 久 生団連会長
(消費者市民社会をつくる会 代表理事)



▲会場の様子

前回の会合で今年度は埼玉生団連として「フードドライブを実施する」ことが決議されたため、今回の会合では各会員からご協力いただけることについて議論しました。

冒頭、柿沼会長より「日本は食料自給率38%と危機的状況にある一方で、規格外野菜や品質上は問題ないが返品された食品などが廃棄されている。フードドライブは、これらを社会に還元する意義ある取り組みであり、主食に限らず幅広い食品を対象に、各主体ができる範囲で関わるのが重要。会合にて意見交換を行い、一歩踏み出した活動につなげていきたい。」とのご挨拶をいただきました。

また阿南会長からは、「地域生団連については、埼玉生団連が第1号として設立され、大きな期待を集めている。地域に根ざした政策展開により、さらなる力を発揮できると考えており、現在4つ設立されている地域生団連をさらに広げていきたいと考えている。志は皆様と同じであり、引き続き尽力する。」とのご挨拶をいただきました。



◀特定非営利活動法人
セカンドハーベスト・ジャパン
鈴木 麻子 様

特定非営利活動法人▶
セカンドハーベスト・ジャパン
芝田 雄司 様



特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン様には、日本で初めてフードドライブを導入された立場から、その社会的な意義についてわかりやすくお話しいただきました。また、実際に食品を受け取られている方々の声を動画でご紹介いただき、活動がどのように役立っているのかを具体的に知ることができました。今回の講演を通じて、改めてフードドライブの重要性を参加者全員で共有する貴重な機会となりました。